

MBA に興味を持たれている皆様へ

2016 年 10 月 10 日

神戸大学六甲クラブ・ミニ MBA 塾では、経済学・経営学全般について学ぶ事が出来ます。この事を可能にしているのは、講師の大住先生が川崎製鉄（現在は JFE スチール）からアメリカのビジネススクールに会社派遣された事が大きな要因だと当方は考えています。ミニ MBA のテキストは相当深くまで作り込まれており、経済学、マーケティング、経営戦略、ファイナンス、会計、製品開発、生産管理等のビジネスでは欠かせない科目で構成されています。講義は月 1 回のメイン講義と補講で進み、1 年間を通した 12 回の講義で幅広く経営学全般を学べる仕組みになっています。講義の質はとても高く、当方は 1 年間を通して一度も講義を休む事はありませんでした。最初に年間の授業料を支払う為、最後まで粘り強く学ぶ姿勢が重要かと思います。そうは言ってもやるべき事は、講義の予習、講義への参加、そして講義レポートの作成だけであり、働きながらも充分に対応出来ます。しかし、これら最低限の約束事も守れない人も多くいました。ミニ MBA の講義は自分の業務に効果的な見返りがある内容ばかりですので、皆様にはこの一年間はミニ MBA での勉学に是非とも集中して頂きたいと思います。当方は大学時代に、ミクロ経済学と経営戦略を学びました。その後 JFE 商事に入社し、鉄鋼原料のトレーディングに 1.5 年間、その後鉄鋼原料の事業投資に 4 年間携わっています。まさに会計学、ファイナンス、生産管理等のミニ MBA の講義内容が自分の業務に直結致しました。しかし、これは当方だけに当てはまる訳ではなく、皆様が現在どのような業務に携わっていようと、企業で働かれている限りにおいては、ミニ MBA の講義は皆様にとって有益な内容だと思います。

第 4 期は 20 名以上のメンバーで構成され、年齢層は 20 歳代～50 歳代と幅広く、またメンバーの所属業界も製造業、金融、商社、ベンチャーと多岐にわたり、講義内外で議論が活発に行われました。企業で働いていると、どうしても同じ企業の人と関わる事が多く、狭い考え方になってしまいます。よって、このミニ MBA を通して、別の業界・企業・年代の方々と切磋琢磨する事は、皆様にとって非常に良い経験になります。所属企業の守秘義務上、案件の具体名までは話せませんが、当方は自分が経験した事例を可能な限り紹介してクラスに貢献しました。そうすると、他のメンバーも自分の会社の事例を紹介されて、講義は非常に活発に進みました。講師である大住先生は川崎製鉄の財務部門でご活躍され、また海外駐在の経験も豊富にあります。従いまして、皆様に経営学を学ぶ強い意志があれば、先生やクラスメートから非常に多くの事を学ぶ事が出来る一年間になるでしょう。第 5 期ミニ MBA 塾に参加される皆様と会える時が楽しみです。

私の連絡先：kondaiori750@gmail.com（何か質問点が御座いましたら、連絡して下さい）

私の履歴書

2006 年 大阪府立北野高等学校卒

2011 年 神戸大学経営学部卒

2011 年 JFE 商事株式会社入社

原料部隊でトレーディングに 1.5 年間、事業投資に 4 年間従事しています。

以上